

KVK ソーラー2ハンドルシャワー・混合栓 施工説明書

KF53N3・KF51C3・KM53N3・KM51C3

施工業者様へ 施工前にこの施工説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
この施工説明書と取扱説明書は必ずご使用になるお客様にお渡しください。
■この施工説明書はKM53N3仕様のイラストで説明しています。

安全上のご注意

- ここに示した **警告** は誤った取扱いをすると、死亡または重傷に結び付く可能性があります。
 - ここに示した **注意** は誤った取扱いをすると、傷害または物的損害に結び付く可能性があります。
- いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

この絵表示は、してはならない「禁止」の内容です この絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です

<p>湯水を逆に配管しないでください。</p> <p>禁止</p> <p>水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。必ず給水配管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確かめてください。</p>	<p>給湯温度は85°Cより高温で使用しないでください。</p> <p>禁止</p> <p>85°Cより高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>加工及び接合等の改造はしないでください。</p> <p>禁止</p> <p>器具が破損し、やけど・けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>
<p>給湯に蒸気を使用しないでください。</p> <p>禁止</p> <p>器具が破損して、やけど、漏水のおそれがあります。</p>	<p>水抜き栓は水抜き以外の目的で開けないでください。</p> <p>禁止</p> <p>水抜き栓をいきなり開けますと高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>配管などの解氷のため解氷機をご使用の場合、水栓には絶対に通電しないでください。</p> <p>禁止</p> <p>通電すると水栓が発熱し、破損して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>
<p>給湯圧力は給湯圧力より高くするか、同圧になるようにしてください。また、給湯器を使用する場合、湯側を加圧する場合も湯側圧力を水側より低くしてください。</p> <p>警告</p> <p>給湯圧力を給湯圧力より高くすると、正常な温度調節ができなくなり、やけどをすることがあります。</p>	<p>スチームルーム及び乾燥室にご使用の際は相談ください。</p> <p>警告</p> <p>器具が破損して、やけど、漏水のおそれがあります。</p>	<p>他所の水栓の使用等により水圧変動が起こり、湯の使用中に湯温が急上昇することがあります。</p> <p>警告</p> <p>やけどのおそれがありますので、やけどのおそれのないところまで水圧変動をおさえた配管設備にしてください。</p>

<p>器具に強い力や衝撃を与えないでください。</p> <p>禁止</p> <p>器具が破損し、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>めっき部品は、ぶつけたり落としたりしないでください。また、鋭利な物や硬い物を当てないでください。</p> <p>禁止</p> <p>めっきの表面が割れて、けがをすることがあります。万一めっきの表面が割れた場合は、ただちに新しい部品に交換してください。</p>	<p>凍結が予想される際は、少量の水を出しておくか、配管に布を巻くなどして、凍結を防止してください。</p> <p>警告</p> <p>凍結を防止しないと凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>
--	---	---

取り付け前に

- ① 使用水圧 (A= (給湯器の最低作動水圧) + (配管圧力損失))
 - (1) 瞬間給湯器との組み合わせ (設定条件 水温: 25°C 給湯器温度調節: 高温 吐水温度: 42°C ハンドル全開) (比例制御式) 最低必要水圧: A+50.0kPa (動水圧)、最高水圧: 0.75MPa (静水圧)
 - (2) 貯湯式給湯器との組み合わせ (給湯・給水圧力) 最低必要水圧: A+50.0kPa (動水圧)、最高水圧: 0.75MPa (静水圧)
- ② 給水圧力は太陽熱温水器の圧力より低くするか、同圧になるようにしてください。
- ③ 給湯器の給湯温度は、50°C~60°Cに設定することをすすめます。
- ④ 給湯器からの配管は最短距離で配管し、配管には保温材を巻いてください。
- ⑤ 使用諸条件を加味して適正な能力の給湯器を選ばないと、適正な吐水量及び吐水温度が得られないことがあります。
- ⑥ 本体(シャワー仕様の場合はシャワーヘッド)より4m以上の高さの所に設置してください。
- ⑦ 本製品は改造(加工及び接合等)によるトラブルについては、保証の限りではありません。
- ⑧ 通水検査をしていますので器具内に水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

取り付け完成図と各部の名称

<p>KM53N3 (混合栓仕様)</p>	<p>KF53N3 (シャワー仕様)</p>
<p>KM51C3 (混合栓仕様)</p>	<p>KF51C3 (シャワー仕様)</p>

寸法図 / 分解図

この分解図は製品説明図であり、サービス部品の単位を示すものではありません。

<p>寸法図</p> <p>混合栓仕様 KM53N3</p> <p>85, 140, 200±50, 103.5, 150, 100, PJ1/2</p>	<p>KM51C3</p> <p>150, 100, 200±20, 97.5, 150, 94, PJ1/2</p>
<p>シャワー仕様 KF53N3</p> <p>1650, 85, 140, 200±50, 150, 100, PJ1/2</p>	<p>KF51C3</p> <p>1650, 150, 134, 200±20, 150, 94, PJ1/2</p>

分解図

部品の形状は仕様によって異なる場合があります。

1 湯側キャップ	11 吐水口	21 逆止弁	31 水抜き栓
2 ねじ	12 パッキン	22 ソケット	32 吐水切替ハンドル
3 ハンドル	13 ストレーナ	23 送り座	33 切替弁ボンネット
4 袋ナット	14 整流器キャップ	24 ソケット	34 切替弁ボックス
5 三角パッキン	15 ねじ	25 ボンネット	35 Xパッキン
6 座金	16 給湯源切替ハンドル	26 スプリング	36 シャワーエルボ
7 固定こま	17 切替弁ボンネット	27 逆止弁	37 パッキン
8 水側キャップ	18 太陽熱温水器給水ハンドル	28 ねじリング	38 シャワーホース
9 本体	19 切替弁ボンネット	29 エルボ	39 シャワーヘッド
10 Xパッキン	20 パッキン	30 ジョイントエルボ	40 シャワーハンガー
			41 切替弁ボンネット
			42 切替弁ボンネット
			43 本体
			44 水抜き栓
			45 エア抜き付逆止弁

取り付け手順

1 給水管内の清掃
配管工事後、必ず給湯・給水管内のゴミなどを取り除いてください。

2 ソケットと本体の取り付け

① ソケットのねじ部にシールテープを巻いて、配管に垂直にねじ込みます。
【お願い】・図1のように湯側と水側のパッキン面は、段違いにならないようにしてください。(シールテープの巻き数にて調節してください)・図2のように湯側ソケットと水側ソケットは「ハ」の字にして取り付けてください。

② ソケットと本体を接続します。
【注意】締め付けは、六角の二面幅に合わせてモンキーレンチ等で確実に行ってください。しっかり締め付けられていないと、漏水するおそれがあります。

(図1) 上から見た図 (図2) 前から見た図

3 太陽熱温水器の取り付け
本体を太陽熱温水器に接続します。

【注意】ナットの締め付けは、二面幅に合わせてモンキーレンチ等で確実に行ってください。しっかり締め付けられていないと、本体が緩んだり、がたつきが発生し、漏水して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

【お願い】
・太陽熱温水器からの給湯側の配管は配管途中での立ち上がりがないように設置してください。立ち上がりがあるとエアロック現象(※)が起きる場合があります。
・太陽熱温水器は、本体(シャワー仕様の場合はシャワーヘッド)より4m以上の高さの所に設置してください。
・KF53N3仕様のみ給水圧力が高い場合は、太陽熱温水器へ逆流することがありますので止水弁を絞って流量を調節してください。([流量の調節方法]を参照してください)

※ エアロック現象…配管の下った部分が常に水が溜った状態になり、太陽熱温水器内のタンクの湯を全部抜いた時再度タンクを満タンにしても湯が出てこなくなる現象。

イラストはKF53N3

4 エアー抜き弁付逆止弁の取り付け(KF51C3・KM51C3のみ)
エア抜き弁付逆止弁を太陽熱温水器の出湯側の本体接続ねじに取り付けます。

イラストはKF51C3

5 シャワーホースと吐水口の接続

① シャワー仕様のみシャワーホースをシャワーエルボに接続します。
② 吐水口を吐水口接続部に接続します。
締め付けは、六角の二面幅に合わせてモンキーレンチ等で確実に行ってください。

【お願い】締め付ける際は傷が付かないよう、あて布等をしてください。

イラストはKF53N3

取り付け後の点検と清掃

通水確認

【注意】水栓を取り付け後、通水して湯水の出し止めを5~6回繰り返し、配管接続部及び水栓から水漏れがないことを確認してください。確認しないと、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

ストレーナ清掃のお願い

吐水口のストレーナがつまりますと、吐水量が減ったり、きれいに流れなくなったりしますので、施工後必ず清掃してください。

➡ 取扱説明書「日常のお手入れ・保守」参照

エア抜き方法

万一、エアロック現象で太陽熱温水器から湯が出なくなった場合、下記の方法でエアを抜いてください。

KF51C3・KM51C3の場合

エア抜きねじを少しずつ回してエアを抜きます。

イラストはKF51C3

KF53N3・KM53N3の場合

エア抜き付逆止弁解除ボタン(1か所)を押してエアを抜きます。

流量の調節方法(KF53N3仕様のみ)

流量の調節は右記の方法で行ってください。また、給水圧力が高い場合に、流量調節止水弁をしぼって流量を調節してください。

故障かなと思ったら…

次のような現象は故障ではありません。修理を依頼される前に下記の表に従ってもう一度お確かめください。

現象	お調べいただくところ	処置	参照ページ及び項目
湯水が止まらない(シャワー仕様のみ)	吐水切換ハンドルはいっぱいまで回っていますか	吐水切換ハンドルをいっぱいまで回す	取扱説明書4ページ「吐水の切換方法」
	止水直後シャワーヘッドから落ちる水滴はシャワーヘッド内の残留水です。故障ではありません		—
吐水量が少ない	(KF53N3仕様のみ) 止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	7ページ「流量の調節方法」
	ストレーナにゴミ等がつまっていませんか	ストレーナを清掃する	取扱説明書6ページ「ストレーナの清掃方法」
	(給湯器使用の場合)ガス給湯器と組合せてご使用の場合、能力切換式のものでは適正能力にセットされていますか	ガス給湯器の能力を適正能力にセットする	—
シャワーが弱い	ストレーナは凍っていませんか	ストレーナにぬるま湯をかける	—
	高温しか出ない	(KF53N3仕様のみ) 止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける
低温しか出ない	(太陽熱温水器使用の場合) エアロック現象が起きていませんか	エアを抜く	7ページ「エア抜き方法」
	(太陽熱温水器使用の場合) 太陽熱温水器から十分な湯がきていますか	太陽熱温水器の作動を確認する	—
温度調節がうまくできない	(給湯器使用の場合) 給湯器から十分な湯がきていますか	給湯器の設定温度・作動を確認する	—
	(KF53N3仕様のみ) 止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	7ページ「流量の調節方法」
	給湯源切換ハンドルはいっぱいまで回っていますか	給湯源切換ハンドルをいっぱいまで回す	取扱説明書3ページ「給湯源の切換方法」
吐水が飛び散る	(太陽熱温水器使用の場合) 太陽熱温水器から十分な湯がきていますか	太陽熱温水器の作動を確認する	—
	(太陽熱温水器使用の場合) 水の勢いが強い又は水圧が高くなっていませんか	流量を調節する	—
	(給湯器使用の場合) 給湯器から十分な湯がきていますか	給湯器の設定温度・作動を確認する	—
吐水が飛び散る	ストレーナにゴミ等がつまっていませんか	ストレーナを清掃する	取扱説明書6ページ「ストレーナの清掃方法」
	ストレーナにゴミ等がつまっていませんか	ストレーナを清掃する	取扱説明書6ページ「ストレーナの清掃方法」

【水栓本体内部のメンテナンスをする場合】
【注意】修理技術者以外の人は水栓本体内部を分解しないでください。故障や水漏れの原因になります。水栓本体内部のメンテナンスは、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご依頼ください。